



昭和四十一年一月九州の陸上自衛隊に講演に行ったときの事です。別府から講演にかかったのですが、陸曹の人たちしか聞かないのです。それで宮崎、鹿児島を回って熊本に行ったとき西部方面総監部に行き、幕僚長にお会いして幹部の方にも聞いていただくようお願いしたのです。そのとき幕僚長をしてもらったのがこの上妻正康陸将補でした。おかげでその後はどこでも幹部、陸曹に聞いていただいたものでした。上妻幕僚長から電話がかかって来たということでした。上妻幕僚長さんは非常に親切なお方だと思っていましたら、自分の旧姓が中根で、非常にご親切であったのも、そのためもあったのかと感銘を深くしたものでした。後に陸将に昇進、第二師団長になっておられたのでした。

名古屋の第十師団長平野斗六陸将をお訪ねしたときでした。師団長は演習に出かけられる服装をしてもらったのですが、私がスピードメモ法の説明をする資料を二、三ページくつたときです。師団長が左手を高く挙げられ、「演習に使え！」と大きな声を出して叫ばれたのでした。びっくりし

